

コアシサシ

今年も、大仙市内を流れる雄物川にコアシサシがやって来た。

かつては県内日本海沿いで繁殖していたが、殆ど姿が見えなくなってしまった。海岸の工事等による環境変化の影響でしょう。コアシサシはやむなく繁殖地を求め、雄物川中流域まで遡って来たものでしょう。

6月27日、中洲の砂利の上でヒナの姿が確認された。孵化後数日でしょうか、まだヨチヨチ歩きます。時々倒れながらも必死に親の周囲を歩き回っている。この中洲では6か所で営巣し、なかなか賑やかです。



親が運ぶ餌にクチバシをいっぱいを開けるヒナ。

この時点で、県内で確認される営巣地は、ここだけと言われます。

親が餌を運んでくると、ヒナは小さな羽を広げクチバシをいっぱいを開けて親の元へ駆け寄ります。ヒナは周囲の石ころの模様とそっくりで、動かなければ天敵に見つかることもありません。親に見守られながら元気に巣立ってほしい所です。



周囲の石ころとそっくり。



必死に親の元へ歩み寄る雛。



強い日差しに耐えながら、歩き出した。



餌を運んできた親（右）は、ヒナに渡すと直ぐ狩りに飛び立ちました。